

平成27年度 セカンドライフ農活基礎講座を開催しました！

近年、定年退職や中途退職し、本格的に農業経営を始めたいと希望される方が増加していることから、農業所得確保を目指して就農を希望する方等を対象として、農作物栽培の基礎知識を習得するための「セカンドライフ農活基礎講座」を、平成28年2月12日（金）から3月4日（金）の間の隔週で全4回開催しました。全体を通じて、20名近くの方が参加しました。

第一回目は、開講式として、受講生の方から自己紹介をしていただきました。市町村や年代も様々な方が集まりましたが、セカンドライフとして農業を始めたいという想いは共通でした。また、セカンドライフとして農業に既に取り組んでいる先輩方お二人からも事例発表としてお話しいただき、実際に農業に取り組んでみての苦労や喜びについて、自らのご経験の中から、受講生に伝えていただきました。さらに、「土づくり」として、土壌の物理性や化学性、生物性について、良い土をつくるために必要なことについて、普及センターより解説しました。



第二回目は、「野菜作りの基礎」と題して、普及センターより解説しました。野菜全般の特性と分類から始まり、佐久地域での栽培時期の目安について、肥料・養分について、種子や発芽・育苗についてなど、栽培に必要な基礎知識について解説し、最後に、佐久地域で取り扱われることが多い野菜の栽培管理についてお話ししました。

第三回目は、「果樹栽培について」と題して、普及センターより、りんご、もも、プルーン、ブルーベリーの生理生態と、基本的な管理作業についてお話ししました。



第四回目は、「普通作物栽培の基礎」と題して、普及センターより解説しました。おいしいお米とは何か？から始まり、水稻や大豆、そば、小麦の栽培に関する基礎知識についてお話ししました。さらに、農作業死亡事故の確率が70歳代以降で急激に高くなることから、受講生の方にも県内の死亡事故例を知っていただき、事故を減らすために必要なことについて一緒に考えました。